



末田まさひこ 市政ニュース

No.32 2013.10.
発行：日本共産党
倉敷市議会議員団
倉敷市西中新田 640
TEL086-426-3767

庶民大増税に反対し、憲法を守りぬきます。

日本共産党倉敷市議会議員 末田 正彦 sueda@mx7.kct.ne.jp TEL086-470-0662 FAX086-470-0668

9月定例市議会報告

(9月10日～9月30日)

9月定例市議会は、2013年度一般会計補正予算案、条例案など44議案を原案通り可決しました。

一般会計では、56億2378万円の増額となり、累計では、1717億8413万円(前年度同期比101.0%)となっています。

倉敷市が突然に提案…

公立保育所給食調理、民間への外部委託

公立保育所の定員150人以上の園から3園を選び、保育所の給食調理業務を、直営方式から民間への外部委託にする予算案が、議会への事前の説明や保育所、保護者への説明もないまま、一方的に提案されました。議会最終日、日本共産党以外のすべての議員の賛成で、予算案は可決されました。



一般質問に立つ末田正彦議員 (9/18)

日本共産党市議団は

一般質問、委員会審議で撤回を求める

①大きな方針転換にもかかわらず、予算案だけ唐突に提案というのは、市民軽視、議会軽視。②保育所はチームによる保育であり、外部委託となれば共同が断ち切られる。③全国で外部委託での事故が起きており、食の安全が保たれない。④調理員の退職を理由にしているが、きちんと正規職員を採用し、直営方式を維持すべき、と主張し撤回を求めました。

フォト日誌



7月28日 国民平和行進 (児島コース)



8月3～5日 第51回自治体学校 (新潟市)

◇公立保育所の給食は、直営のままで

「保育所が責任をもって行えるよう施設の職員により行われることが原則であり、望ましいこと」 ー平成10年厚生省通知ー

(質問) 保育所では、保育内容の一環として食育を位置づけている。施設長の責任のもとに保育士、調理員、栄養士、そして看護師などの全職員が協力して、各保育所の創意工夫のもとに食育を推進していくことが求められている。当局が拠りどころにしている平成10年の厚生省通知「保育所における調理業務委託について」の中でも、調理業務については「保育所が責任をもって行えるよう施設の職員により行われることが原則であり、望ましいこと」と書かれている。当局は、自園の直営方式での給食調理ではなぜいけないのか、望ましいことをなぜ追求しないか。

重要な保育内容の一環である給食調理の変更問題を、議会に全くの相談もなく、唐突に議案として提案をするなど、議会軽視も甚だしい。撤回を求める。

〈答弁〉 生水哲男保健福祉局長は「確かに昔から、望ましいということになっているが、本市の職員の実情、いろんなやり方も検討した」と答弁にならず。

「すべては子どもの最善の利益のために」という子どもの権利条約の精神に背を向ける答弁となっています。

◇問題だらけの

子ども・子育て支援新制度

ー保育時間必要量の認定は、子どもの全面的な発達を保障する観点から決めるべき。親の就労時間で保育時間を決めるのは大問題ー

(質問) 保育所の保育は子どもの発達を考え、1日の流れの中で集団での生活を通じ、遊びや散歩、給食を組み立てている。現在は、保育時間8時間が原則。しかし、新制度では、親の就労時間に応じ保育時間を決めるとある。

親がパートなら、現在保障されている一日中の保育が保障されなくなり、保育を細切れにしか受けられず、発達を保障されないことになる。保育時間は、8時間原則を堅持すべきで、親の就労状態だけで決めるべきではない。



〈答弁〉 生水保健福祉局長は「現行の保育所の開所時間や保護者の就労状況の実情などを参考にして、今後時間設定がなされるので、本市としても、その動向を踏まえ準備を進めたい」と答弁。

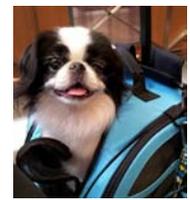
子どもの命と人間的発達を保障する観点からの保育の必要性についての言明はありませんでした。



8月9日 平和の鐘（水島緑地福田公園）



8月18日 スライディンググループ観測室開館式



(3)

旅行に行くはなちゃん

◇視覚障がい児に通学支援を

「スクールバスが出ている JR 岡山駅までの
ガイドヘルパー援助を求める」

一生水保健福祉局長

「他都市の状況を詳しく調査したい」

(質問) 視覚障がいを持つ子どものお母さんから、次のような相談が寄せられた。「県立岡山盲学校の小学部に入学することになるのですが、1年生からの寄宿舎生活は不安です。岡山駅からはスクールバスが出ているので、そこまでの通学支援の制度はできないでしょうか」という相談。視覚障がいを持つ子どもは、学校選択も県立岡山盲学校となる中で、遠距離通学になり通学に対する支援は不可欠。寄宿舎生活しかないというのではなく、行政としては複数の選択肢を準備しておくべきではないか。

〈答弁〉 生水保健福祉局長は「地域生活支援事業において、外出時の移動介助等付き添いの支援を行う移動支援事業を実施している。この事業については、介護、訓練的な面を有することから、日々の通学など通年かつ長期にわたる外出に係る利用は、原則できないこととしている。今後、どういふうにしたら、やっていけるのかということも含めて、他都市の状況を詳しく調査したい」と答弁。

◇児島市民病院新病院建設に向けて

－南海トラフ地震に対する防災対策、経営形態、温暖化対策など病院のあり方を問う－

(質問① 津波に対する備えの問題について)

児島沿岸部は、平成19年の台風16号において、TP+3mの高潮を経験している。南海トラフ地震で想定される津波は、平均津波高がTP+2.8m、最大津波高は3.2mと示された。倉敷市都市計画図の記載によると、現市民病院敷地の地盤高はTP+3.1m、周辺の地盤高はTP+2.7m～3.2mと示されている。地盤のかさ上げは今計画されていないようだが、基本設計にあたっては慎重な検討をお願いしたい。

〈答弁①〉 伊東香織市長は「岡山県津波浸水想定によると、病院敷地の一部については津波被害のない区域とされている。しかしながら、建設に関しては津波対策として、敷地自体は浸水がない区域となされているが、電気室、機械室等、病院機能の維持に必要な重要区画については、より災害の影響を受けるおそれの少ない2階以上に設置をしていきたい」と答弁。

(質問② 病院の経営形態について)

地方公営企業法の全部適用への経営形態の移行を考えているようだが、その先に地方独立行政法人化、指定管理者制度導入を前提にしてのものならば、



9月7、8日 第18回中小商工業全国交流・研究集会(岡山市)



9月28日 倉敷市立柳田保育園運動会

市民には非常に迷惑なもの。経済性を重視した経営形態となり、自治体病院に求められる公的責任より採算を最優先させることになる。また、議会の関与、チェック機能が後退する。児島市民病院を守ろうとして立ち上がった市民の思いは、市民病院としての存続、発展である。

〈質問③ 再生可能エネルギーの活用について〉

倉敷市地球温暖化対策実行計画では、日照条件に恵まれた本市の特性を生かして、公共施設への太陽光発電システムの設置推進をうたっている。建てかえにあたり、病院の屋上に太陽光発電パネルの設置をおこない、再生可能エネルギーの普及に努めることを求める。

〈答弁③〉 生水保健福祉局長は「設置についてどういった手法があるかも含め、検討を行いたい」と答弁。

◇「わが家の津波ハザードマップ」から

ー児島唐琴地域の住民の声

「津波避難方向に津波避難場所となる施設がない地域はどうする？」

ー橋本総務局長

「届出避難所制度の活用を各自主防災組織に呼びかけている」

〈質問〉 児島唐琴地域など、津波避難方向に津波避難場所となる施設がない地域の避難計画や避難場所について、市としての見解を示されたい。



倉敷市作成
「津波ハザードマップ」

この間の主な参加行事、活動です（7～9月）

- ・ 7/4 参議院選挙公示（7/21 投票）
- ・ 7/9 党倉敷地区委員会総会
- ・ 7/11 倉敷市社会教育委員会
- ・ 7/19 徳島大学美土利会岡山支部総会
- ・ 7/21 参議院選挙投票日
- ・ 7/23 倉敷市議会文教委員会
- ・ 7/24 故伊川巖先生画集贈呈式（市教育委員会）
- ・ 7/28 国民平和大行進（児島コース）
- ・ 8/3～4 第51回自治体学校（新潟市）
- ・ 8/9 平和の鐘（水島緑地福田公園）
- ・ 8/11 市政報告会（中津山第一ふれあい集会所）
- ・ 8/12 倉敷市議会会派代表者会議
板池町内会盆踊り大会
- ・ 8/14 西の側町内会盆踊り大会
- ・ 8/15 平和の鐘（水島緑地福田公園）
- ・ 8/17 第17回戦争遺跡保存全国シンポジウム
- ・ 8/18 ライフパーク倉敷の集い2013
スライディングルーフ観測室開館式
- ・ 8/20 党倉敷地区委員会総会
- ・ 8/21 岡山県党地方議員会議
- ・ 8/23 倉敷市議会文教委員会
- ・ 9/1 市政報告会（赤崎憩いの家）
- ・ 9/3 倉敷市議会議会運営委員会
党市議団9月市議会前懇談会（倉敷労館）
- ・ 9/7, 8 第18回中小商工業全国交流・研究集会（岡山市）
- ・ 9/10 倉敷市議会9月定例会開会（9/30まで）
- ・ 9/11 倉敷市議会本会議一般質問通告メ切り
岡山県建築士会児島支部役員会
- ・ 9/14 サネットフェスタ in こじま開会式（鷲羽山）
- ・ 9/18 末田正彦、倉敷市議会一般質問登壇
- ・ 9/26 倉敷市議会文教委員会
- ・ 9/28 倉敷市立柳田保育園運動会
第12回児島はばたきふれあい祭り
- ・ 9/29 第28回下津井節全国大会開会式
- ・ 9/30 倉敷市議会6月定例会閉会



新設の質問席で質問する末田議員（右手前）と市当局

本会議一般質問「一問一答方式」を採用

本会議の一般質問について、これまでの「一括質問一括答弁方式」に加え、「一問一答方式」が採用されました。私も「一問一答方式」で質問に立ちました。質問時間は30分（答弁は除く）でこれまでと同じですが、質問回数に制限がない分（これまでは再々質問まで）、突っ込んだ追求が出来ます。しかし、それだけにさらに周到な準備が必要と感じました。傍聴者の方の感想は、「一問ごとにやり取りするので、分かりやすかった」と概ね好評のようです。